

# みんなの学校を ながく・よく使い続けるアイデア

▶▶▶ 既存学校施設の有効活用に向けて ◀◀◀



新潟県柏崎市立米山小学校 / 1967



群馬県太田市立休泊小学校 / 1974



和歌山県高野町立高野口小学校 / 1937



東京都中央区立泰明小学校 / 1929



岡山県成羽町立吹屋小学校 / 1909



福島県三春町立三春中学校 / 1965  
生徒ラウンジの設置



愛媛県内子町立立川小学校 / 1943  
多目的スペースへの改修



神奈川県横浜市立港北小学校 / 1972  
情報化への対応(メディアセンター)



京都府京都市立葛野小学校 / 1970  
ふれあいサロンの設置



北海道札幌市立真駒内南小学校 / 1966  
廊下を拡張した図書室整備

文部科学省

## 「既存学校施設を有効活用する」という考え方

### ■今、なぜ既存学校施設の有効活用？

近年、大量生産・大量消費の時代から、ものを大事に使い続けることの大切さが見直されつつあります。

学校施設の多くが、老朽化や耐震性確保の問題を抱えており、改築や改修などの検討を必要とする時期を迎えている中で、施設整備による環境に及ぼす影響や、地域とともに過ごした歴史的・文化的価値を継承するという観点から、既存学校施設をながくよく使い続けることが重要になってきています。

### ■既存学校施設だからできること

既存学校施設は、私たちみんなの目の前にあり、実際に使っているものです。だからこそできることがあります。

- 行政だけでなく、児童生徒、教職員、地域みんなで考えることができます。
- 工事をする前に、みんなで考えたことを実物の模型として確認することができます。
- みんなで考えた改修の成果を確認して、次につなげることができます。
- これが継続的に続けば、やがて学校全体が魅力ある空間になっていきます。

### ■既存学校施設の有効活用の取り組み

既存学校施設の有効活用には、大きく二つの面からの対応が考えられます。

- 機能開発…施設の機能を確保しながら、教育方法や内容の変化に対応する。
- 保全活用…地域における歴史的・文化的価値を継承しながら、地域のシンボルとして活用する。

## 「みんなで、ながく・よく使い続けよう！」

安全で潤いのある学校を「子どもたちの学びのための住まい」、「地域みんなが利用できる施設」として、学校関係者みんなで取り組む視点を共有し、使い続けるためのプロセスを確立することが大切です。

## 「学校関係者みんなで考えよう！」

よりよい学校をみんなで考えるため、学校・地域・行政の三者が主役となり、建築設計者、学校建築研究者、教育研究者等の専門家との連携協力を得ることができる場をつくるのが大切です。

普通教室のオープン化



改修前

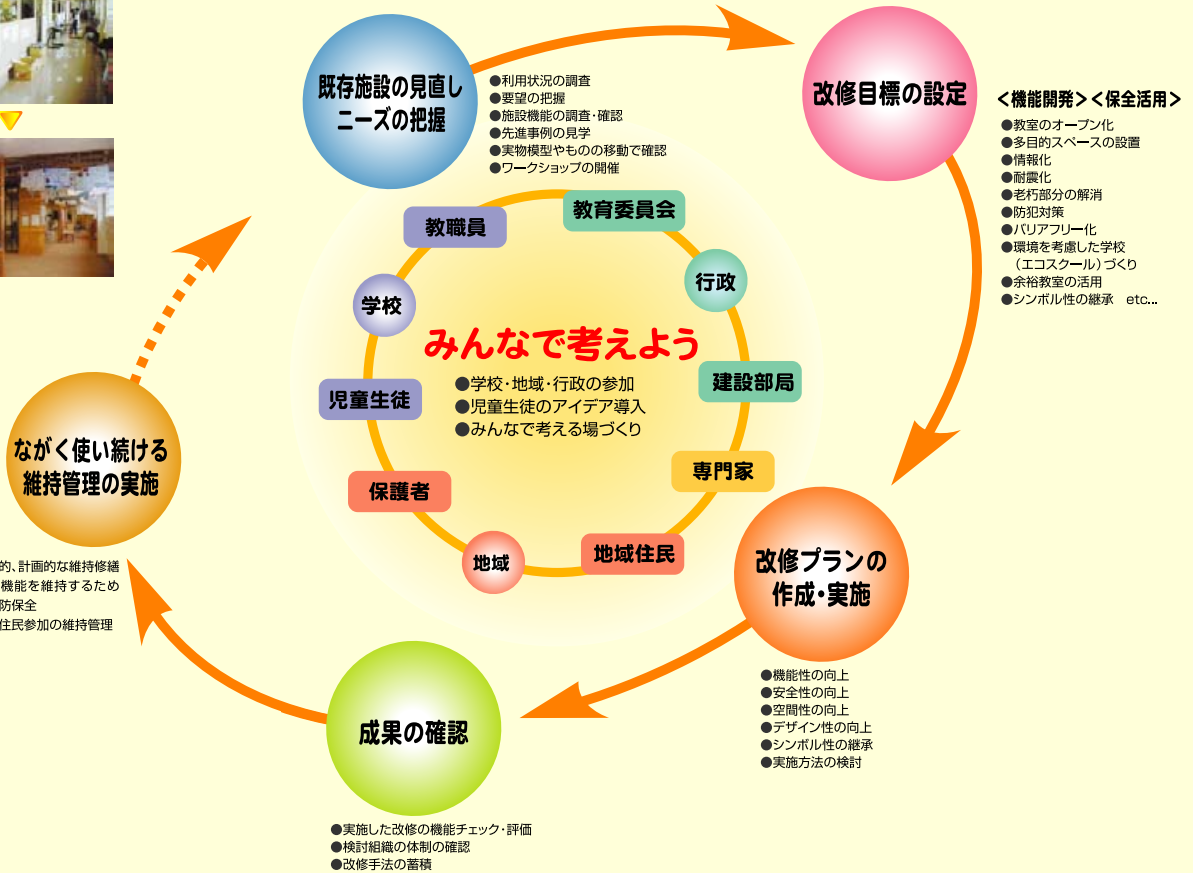


改修後

ながく使い続ける  
維持管理の実施

- 持続的、計画的な維持修繕
- 施設機能を維持するための予防保全
- 地域住民参加の維持管理

## 既存学校施設の有効活用の進め方



## 学習機能の多様化への対応

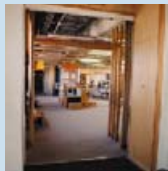
### 情報の拠点となるメディアセンター

#### 港北小学校 (神奈川県横浜市)

校舎の中央に位置する理科室を廊下まで取り込み、みんなが集まるメディアセンターに改修しました。ここを中心に校舎のあらゆるところに本やパソコンを配置することで、学校全体が学びの場となっています。



(改修前)

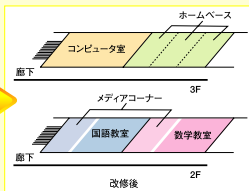
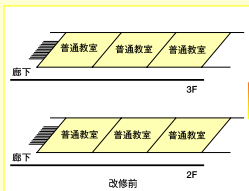


### 余裕教室を活用した教科教室の整備



#### 安塚中学校 (新潟県安塚町)

余裕教室を活用し、普通教室間の壁を撤去することにより、3教室分を2教室にした教科教室を整備しました。また、生徒の居場所としてホームベースを設置するなど、教科教室型の学校運営を行う校舎として再生しました。



### 環境教育の教材として校舎を再生

#### 米山小学校 (新潟県柏崎市)

大規模な改修を実施した際にエコスクールとして整備。毎年、各学年でテーマを掲げて環境学習を展開しており、エコスクールの仕組みを調べる活動を通して、自然の大切さを理解し、自分

たちでできることを実践していく気持ちを持つことを学んでいます。



### 木造校舎を引き立てる外構の整備



#### 有福小学校 (島根県浜田市)

木造校舎とともに、美しい景観を形成している花壇などの環境整備を、地域住民と一緒にしています。

### モダンな校舎を保持しバリアフリー化



#### 阿山中学校 (三重県阿山市)

地域住民から保存を望まれ、地域のシンボルであったモダンな外観の校舎のデザインや空間的特徴を保持しつつ、スロープやエレベータ設置などによるバリアフリー化を行っています。

### 特徴ある意匠

#### 六原小学校 (京都府京都市)

随所に特徴ある意匠の施された校舎は、図画工作のモチーフとしても積極的に活用されており、六原小学校が力を入れている造形教育を行う上でも格好の教材となっています。



### ツタに覆われた校舎外観

#### 泰明小学校 (東京都中央区)

地域住民の思い入れを受けて校舎外観には特に気を配り、外壁塗装やツタの管理等を行っています。



## 安全・安心の向上

### 普通教室のオープン化

#### 志木小学校 (埼玉県志木市)

廊下との間仕切壁を撤去してオープンな普通教室にし、学年オープンスペースも設置しました。これにより、同時に整備された新築校舎と同じく多様な学習に対応できる校舎となりました。



(改修前)



### オープンスペースへの改修

#### 田場小学校 (沖縄県具志川市)

大規模な改修及び増築の併用により、普通教室をオープンスペースに改修し、その南側に普通教室を増築しました。多様な学習に対応できる空間としています。



### 外観デザインを継承する制震構造

#### 高輪台小学校 (東京都港区)

地域住民からの「外観を極力残してほしい」という強い要望を受け、ブレースによる補強ではなく、制震構造を用いることとなりました。



### 開放感ある耐震補強

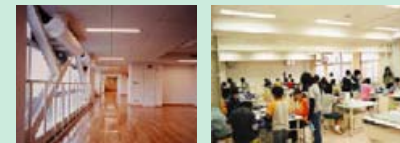
#### 休泊小学校 (群馬県太田市)

校舎の南壁面に、柱・梁のフレームを追加し梁でつなぐ工法により、耐震補強を行いました。開放性を高めた普通教室や螺旋階段により、空間の流動性をつくり出しました。



#### 志木小学校 (埼玉県志木市)

桁行方向の鉄骨ブレース補強だけでなく、梁間方向の柱梁を鉄鋼で補強して、教室のオープン化を図りました。



### 防犯対策

防犯対策については、図面や現場等において点検・評価を行い、必要な予防措置を計画的に講じていくこと、また、安全管理に関する運営体制等のソフト面での取り組みと一体的に実施することが重要です。その際、家庭や地域の関係機関・団体等と連携しながら取り組みを進めることが重要です。

## 生活機能の充実

### ㊦ 書室とランチルームの一体化



**常盤小学校(東京都中央区)**  
ときわルーム・図書館の半分をランチルームに改修し、図書室とランチルームを一体化させることにより、学年交流や地域住民の活動の場として有効に活用されています。

### トイレの環境改善

体格に合わせて高さの違う手洗い場を設置した天北小中学校や、意見交換会などで子どもたちのニーズを取り入れて整備した石部小学校など、多様な整備が行われ快適なトイレ環境が創り出されています。

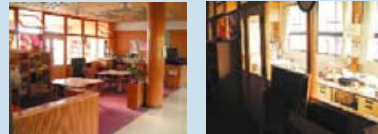


天北小中学校(北海道稚内市)



石部小学校(滋賀県石部町)

### ㊦ 児童生徒・教員の居場所づくり



#### 三春中学校(福島県三春町)

余裕教室を活用して、廊下に開かれた生徒ラウンジ兼図書コーナーと、その奥に教師ステーションを設けました。間仕切壁をガラスとしたことで、視覚的なつながりができ、教師と生徒の交流が図りやすくなりました。

### 和室を生かした用途転用

#### 黒沢中学校(茨城県大子町)

現在の学校施設に求められている機能に対応する工夫の一つとして、家庭科室の和室部分を「心の教室相談員(カウンセラー)がいる相談室」に転用しました。



## 対話型・参加型の取り組み

### ㊦ 学校運営にボランティアが参加



#### 中央小学校(千葉県野田市)

余裕教室を活用して図書室の読書スペースを整備しています。管理を地域のボランティアが常駐して行い、また、教育史料館の管理運営は、同窓会の有志を中心とした教育史料館運営委員会が行っています。

### ㊦ まちづくりと連携した整備



#### 高野口小学校(和歌山県高野口町)

「高野口まちづくり協議会」で校舎を「町の宝」と位置づけ、見学会やシンポジウムの開催などの活動を行っています。また、町民総出で行う学校の垣根剪定作業や、地域住民による植栽の手入れや校庭の清掃作業が行われており、学校環境の維持に貢献しています。

### ㊦ 対話型の設計・整備

#### 港北小学校(神奈川県横浜市の)

教員が教室と廊下の間仕切りを取り払い、オープンな教室空間を体験してみたいことがきっかけとなり、「学びの環境整備」は学校全体に広がっていきました。「施設改修プラン会議」は教職員や地域住民で構成され、延べ100時間超にも及び対話により改修計画が進められました。



(改修計画初期)

### ㊦ 日常の営繕活動

#### 田場小学校(沖縄県具志川市の)

具志川市では、営繕大工1名とシルバ一人材2名が配置され、日々の細かい営繕活動を行っています。



## 地域連携機能の充実

### ㊦ 地域開放しやすい多目的ホールの設置

#### 北小学校(栃木県鹿沼市の)

独立して利用可能な校舎の一室を多目的ホール(集会室)とすることで、休日・夜間などにも利用することが可能になりました。



### ㊦ 和室の整備による地域交流の場

#### 塩見小学校(宮城県日向市の)

1教室分を和室に改修した多目的スペースは、養護学校との交流や地域住民に利用され、これまで以上に児童と地域住民との交流を深めています。



### ㊦ ふるさとの意識を高めるカレンダーづくり

#### 吹屋小学校(岡山県成羽町の)

児童・保護者・学校が一つとなり、校舎を題材にした版画カレンダーを制作しています。子どもたちのふるさとへの意識を高め、学校と地域との結びつきを強めています。



### ㊦ 学校ふれあいサロン事業

#### 京都市

余裕教室などを、生涯学習の場として市内全小学校に整備を進めており、地域住民の交流や高齢者と子どもたちとのふれあい拠点として機能しています。



葛野小学校:ふれあいサロン

## 設置者レベルでの取り組み

### ㊦ 学校施設整備計画の策定

#### 札幌市

老朽化した学校施設を現在の教育活動にふさわしい機能水準にまで高めることは、多くの学校を抱える設置者において特に大きな課題となっています。札幌市では、事業の総量を把握して優先順位付けし、計画的に整備を進めています。



真駒内南小学校:ラウンジ



西野中学校:多目的室



真駒内南小学校:図書館

### ㊦ 心の教室の整備

#### 広島市

市内の約50校の中学校を対象に、生徒が集まりやすい・温かみのある「心の居場所」となる「心の教室」の整備を、複数年にわたり計画的に実施しています。スクールカウンセラーと地域ボランティアのふれあい教室相談委員を配置し、生徒や保護者、または教員の相談に対応しています。



中広中学校:心の教室

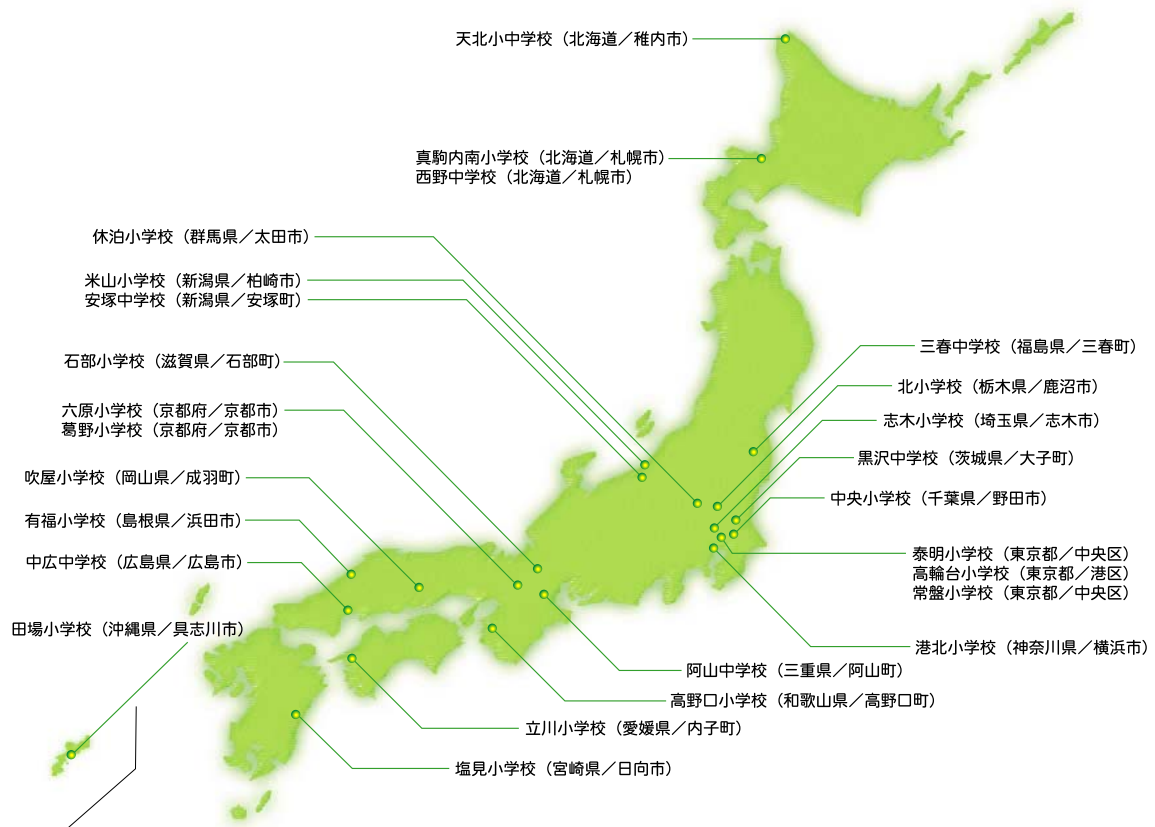
### ㊦ 既存学校施設を活用した学校統合

#### 天北小中学校(北海道稚内市の)

学校統合及び小・中学校の併置に伴い、新築ではなく大規模改修事業と増築によって整備し、学校施設の質を高めました。また、地域住民の意見を反映させながら検討を重ねたことが、地域住民の意識を一つにまとめ、学校統合の円滑な推進につながりました。



## 掲載学校所在地図



### 公立学校施設整備の主な補助事業・補助率

- **新 増 築 事 業**：不足する学校建物を新しく建設する事業 … 1/2
- **改 築 事 業**：構造上危険な状態にある学校建物を建て直す事業 … 1/3
- **地 震 補 強 事 業**：既存の学校建物を地震に備え耐え得る仕様に補強する事業 … 1/2
- **大規模改造事業**：既存の学校建物の内外装の模様替えや用途変更を行う事業 … 1/3

#### ▼所在地・問合せ先

文部科学省のホームページ：<http://www.mext.go.jp/>

文部科学省大臣官房文教施設企画部施設助成課

〒100-8959 東京都千代田区丸の内2-5-1

TEL：03-5253-4111 (代表)

FAX：03-6734-3743

この資料は、平成15年度に文部科学省より(社)日本建築学会に委嘱した「既存学校施設の有効活用に関する調査研究」(主査:藍澤 宏/東京工業大学教授)の報告書を要約したものです。